

THE OPEN UNIVERSITY
OF JAPAN

単位互換案内

About Us

放送大学は
日本で唯一、放送により授業を行う大学として
1983年に開学しました。

入学試験を行わず
学びたい人すべてに開かれた大学。
だからこそ、私たちは学習効果の「質」にこだわって
高品質な授業科目を開設し続けてきました。

The OP

単位互換の推進は
そんな私たちが開学以来取り組んできた
「目的」※の1つです。

日本のすべての学生の「学びたい」に応えたい。
学生へより豊かな学習機会を
放送大学と共につくりませんか。

※：放送大学教養学部教養学科設置届出書「設置の趣旨等を記載した書類」より
広く大学関係者の協力を結集する教育機関として、既存の大学との連携協力を
深め、最新の研究成果と教育技術を活用した新時代の大学教育を行うとともに、
他大学との交流を深め単位互換の推進、教員交流の促進、放送教材活用の普及
等により、わが国大学教育の改善に資すること

CONTENTS

基本編

放送大学の単位互換
「5つの特徴」

応用編

こんな「お悩み」
ありませんか

実践編

広がる可能性
「9つの活用例」

1 履修方法等

2 活用のための制度：
「枠入学」、「再試験」、「教育協力型単位互換」

3 協定締結までの流れ

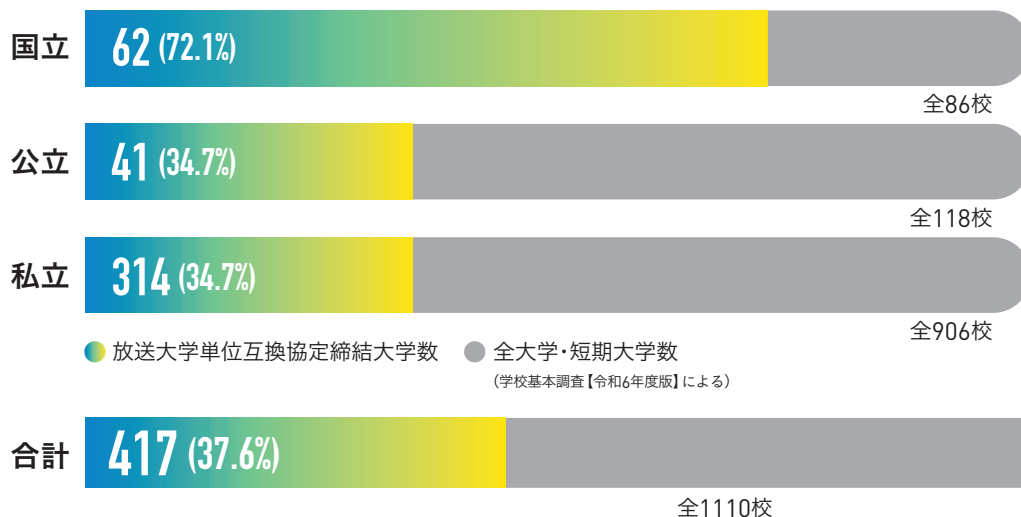
4 データで見る放送大学の単位互換

5 Q&A

6 その他

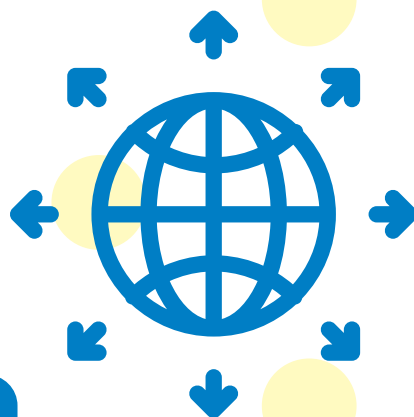
EN University of Japan

設置形態別大学・短期大学に占める協定校の数



OPEN!

放送大学の単位互換「5つの特徴」



いつでも、どこでも

単位互換で利用できる授業形態は「放送授業」、「オンライン授業」の2種類。どちらもインターネットで受講できます。

「放送授業」は、映像・音声による「放送教材（授業番組）」と「印刷教材（テキスト）」で構成。放送教材はインターネット配信で24時間いつでもどこでも視聴できます。学期途中の「通信指導」と学期末の「単位認定試験」は、どちらも原則Web上で提出、受験します。

「オンライン授業」は、講義の視聴や課題の提出等、全ての学修をインターネットで行い、科目ごとに決められた期間に課題を提出することで成績評価を行います。放送授業のような印刷教材、通信指導、単位認定試験はありません。



幅広い分野と確かな品質

単位互換の対象となる授業科目は、教養学部・大学院で合計400科目以上。「生活と福祉」「心理と教育」「社会と産業」「人間と文化」「情報」「自然と環境」全6コース（教養学部）で、基礎から専門まで、幅広い分野の科目を開講しています。

放送大学は、各分野でトップクラスの教員が約2,000人揃っています。様々な専門分野を持つ放送大学専任教員だけでなく、他大学からも数多くの客員教員を招き、日本における第一線の研究者による授業を提供しています。実力・人気ともに高い、多様な教授陣から、理論や知識を吸収することができます。

そのため、様々な学びの需要に確かな品質でお応えすることが可能です。

放送授業科目の一部は、オープンコースウェア（OCW）として全ての内容を公開しています。是非一度ご覧ください。

参考：放送大学オープンコースウェア（OCW）
<https://www.ouj.ac.jp/reasons-to-choose-us/ocw/>

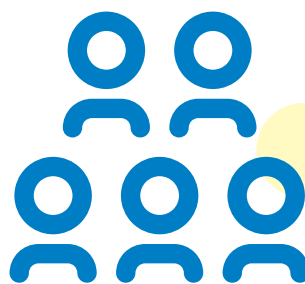




3 何人でも受入可能

放送大学の「放送授業」「オンライン授業」には定員がありません。

個別の学生需要に対応した1名～数百名のご利用まで対応可能。どのような規模のご利用であっても、学期毎に柔軟にご利用いただけます。



4 無料で放送教材を貸出



単位互換校のご要望があれば、履修科目の放送教材を収録したDVD（テレビ科目）・CD（ラジオ科目）を無料で貸し出します。

教室内での集団視聴や、時間割に組み込んだ組織的なご利用等に最適です（もちろん、集団視聴は必須ではありません。学生一人一人のペースでインターネット配信で視聴していただくことも可能です）。



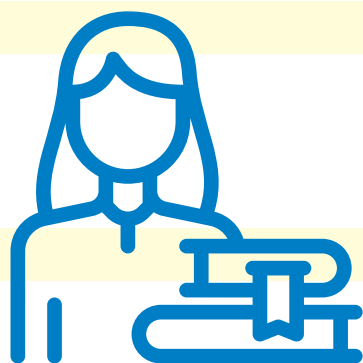
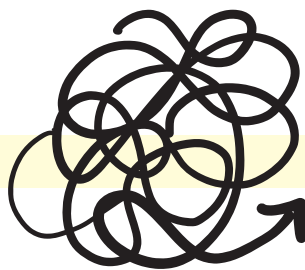
5 単位制学費でリーズナブルな授業料

単位互換制度を利用すると入学料は不要となり、授業料は登録した科目の分だけをお支払いいただきます。授業料は1単位あたり6,000円（2単位12,000円）です。⇒参照：（P.7「受入方法」）また、一定以上の人数でのご利用が見込まれる場合には、カリキュラム上の位置づけを行う等の所定の要件を満たすことで、授業料の最大半額を協力費としてお支払いする「教育協力型単位互換制度」もあります。



こんな「お悩み」ありませんか

Before



学生

- 学びたい外国語科目がない…
- 興味のある分野についてもっと幅広く学びたい…
- 再履修科目のために別のキャンパスに行くのは大変…



大学

- 学生の学びの選択肢は減らしたくないけど、経営の合理化も必要…
- 教養科目の講師を見つけるのが大変…
- 学生の資格取得等の要望に応えられない…

学びをもっと自由に、もっと豊かに。学生の

After



- 
- 放送大学ならドイツ語、フランス語、中国語、韓国語、ロシア語、スペイン語、様々な外国語を学べる!
 - 全6コース約350科目(学部)の中から、興味のある科目がきっと見つかる!
 - 放送大学なら、キャンパス移動も不要、時間割がもっと自由に!

- 
- 放送大学なら小人数の履修科目でも、利用した分の授業料でOK!
 - 放送大学ならマイナーな分野の教養科目も、幅広くカバーできる!
 - 放送大学の科目は資格取得にも活用できる!

『学びたい』のために、放送大学があります。

広がる可能性「9つの活用例」

選択科目の拡充

全6コース約350科目（学部）以上の幅広い科目群が、様々な大学等のカリキュラムに対応します。放送大学を活用すれば、学生の幅広い興味関心に応えるカリキュラムを構築し、豊かな学びを提供することができます。



参考：放送大学授業科目案内
<https://www.ouj.ac.jp/kamoku/kyouyou/C/>

活用事例 1

年度毎に10科目ほどを選定し、最大10単位分を、卒業単位に算入可能とする。

活用事例 2

全ての放送授業科目を対象に教養教育科目として認定する。

再履修科目の代替

前年度に修得できなかった別のキャンパスで開講されている科目も、いつでもどこでも学べる放送大学の科目であれば、通学不要で学修できます。

時間割にも影響しないため柔軟な履修が可能です。

活用事例

外国語を再履修する学生が、必修科目等の都合でキャンパス移動が難しい場合に利用。

※貴学の成績発表のスケジュールによっては、発表直後に本学への単位互換の出願が必要になる場合があるため、予め出願スケジュール等をよくご確認ください。

資格取得科目等として活用

放送大学では、各種の資格取得等に利用できる科目を開講しています。

学芸員：博物館法施行規則に対応した「博物館に関する科目」のうち、「博物館実習」以外の科目

教員免許：免許法施行規則第66条の6に対応する科目（日本国憲法／体育／外国語コミ

ュニケーション／数理、データ活用及び人工知能に関する科目 又は 情報機器の操作）

JABEE対応科目：JABEE（日本技術者教育認定機構）に対応する科目「共生のための技術者倫理（'24）」

※単位互換制度では、最終的に学生の所属大学の単位となるため、放送大学では証明書等の発行ができません。（学期毎の成績通知はいたします）。資格取得に活用する場合、修得科目名等の証明が必要となる場合があるため、自学における認定方法や証明書上の扱いについて、予めご確認ください。



参考：放送大学で目指せる資格
<https://www.ouj.ac.jp/reasons-to-choose-us/qualification/>



外国語科目の拡充

複数の英語科目のほか、ドイツ語、フランス語、中国語、韓国語、ロシア語、スペイン語等、多くの第2外国語科目を開設しています。

活用事例

希望者が少なく、開設困難な語学科目を、学生の希望に応じ選択科目として利用。



参考：外国語科目

https://www.ouj.ac.jp/kamoku/kyouyou/C/kiban_gaikokugo/

リメディアル教育として

推薦やAO、総合型選抜等、入試のあり方が多様化している中、リメディアル教育の必要性が年々増加しています。放送大学では、基礎学力の補完に適した科目を複数開設しています。

リメディアルに適した科目の例

初歩からの数学、初歩からの物理、初歩からの化学、初歩からの生物学、日本語リテラシー、遠隔学習のためのパソコン活用等。

通学困難な事情がある学生の補助

いつでもどこでも学べる放送大学の科目なら、様々な事情により通学が困難な学生の、補完的な単位の充足が可能です。

活用事例

様々な事情によって通学が困難な状況にある学生の進級・卒業のため、本来自学で修得すべき単位を、予め大学が指定した放送大学科目によって補完する。

夜間/社会人コースの拡充

幅広い世代に履修実績がある本学の科目は、夜間/社会人コースの拡充にも最適です。

活用事例

社会人の場所や時間の利便性を考慮し、①外国語科目、②基盤科目、③基礎的専門科目の合計40単位まで、大学が指定した科目を履修する。

通信制のスクーリング単位の代替

通信制大学において原則30単位が必要となるスクーリング。放送大学の放送授業は、1科目2単位のうち1単位を、オンライン授業では1科目の単位数(1単位もしくは2単位)全てをスクーリングの単位に算入することができます。

放送大学の単位互換制度は、通学制大学だけではなく、多くの通信制大学でも活用されています。

大学院修士課程での活用

放送大学の単位互換制度は、修士課程でも活用されています。

活用事例

「特定行為に係る看護師の研修制度」の研修機関として指定された看護系大学院において、「看護師の特定行為研修科目」のうち、共通科目(講義・演習部分)を、放送大学大学院のオンライン授業で受講する。



参考：看護師の特定行為研修

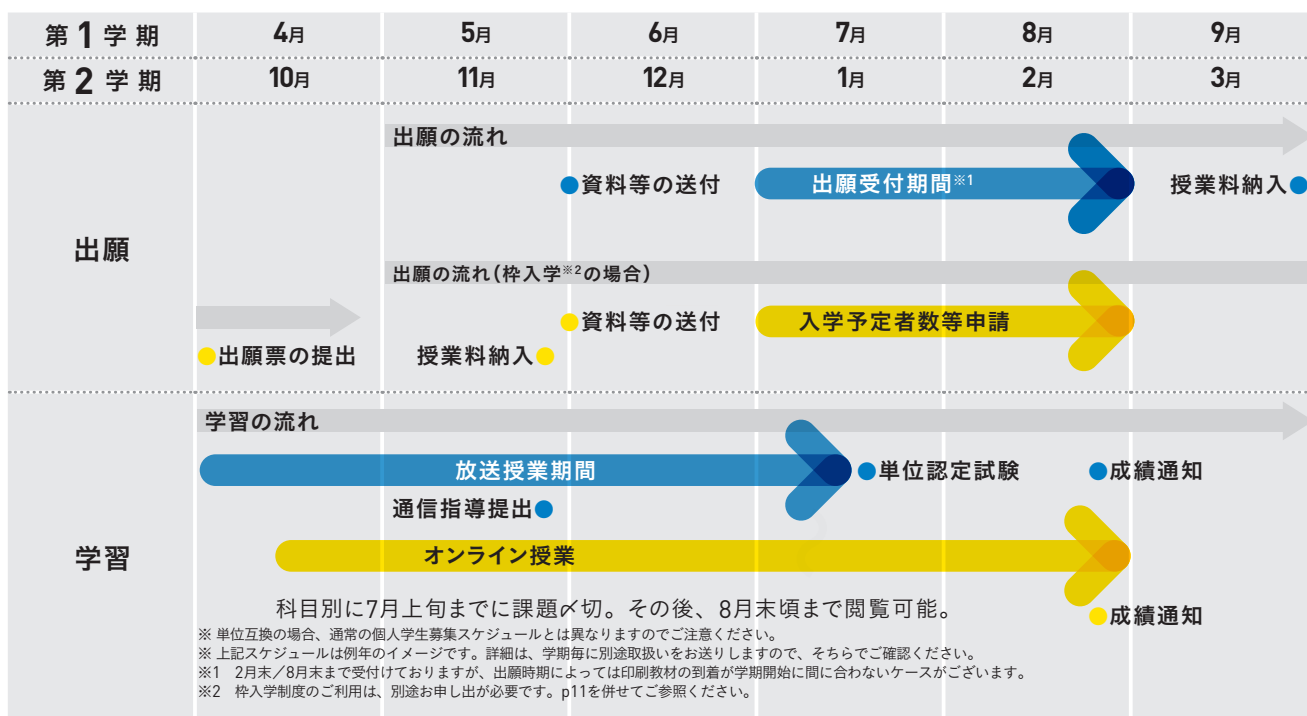
<https://www.ouj.ac.jp/reasons-to-choose-us/qualification/nurse3/>

1 履修方法等

受入方法

1.放送大学における学生の身分	本学の「特別聴講学生」として受け入れます。												
2.受入学生数	協議によって定めます。												
3.履修期間	特別聴講学生の履修期間は1学期間（6カ月）です。												
4.履修できる科目の範囲	本学で開設している全ての放送授業及びオンライン授業の科目から選択していただけます。 ただし、学部生が大学院開設科目を、大学院生が学部開設科目を履修することはできません。												
5.修得できる単位数	設置基準・学則等における定めを上限とし、その範囲内で協議によって定めます（大学60単位、短期大学（2年制）30単位、高等専門学校60単位、大学院15単位）。												
6.学費	入学料：不要です <table><tr><td>授業料：学 部</td><td>1科目（2単位）</td><td>12,000円</td></tr><tr><td></td><td>1科目（1単位）</td><td>6,000円</td></tr><tr><td>大学院</td><td>1科目（2単位）</td><td>24,000円</td></tr><tr><td></td><td>1科目（1単位）</td><td>12,000円</td></tr></table>	授業料：学 部	1科目（2単位）	12,000円		1科目（1単位）	6,000円	大学院	1科目（2単位）	24,000円		1科目（1単位）	12,000円
授業料：学 部	1科目（2単位）	12,000円											
	1科目（1単位）	6,000円											
大学院	1科目（2単位）	24,000円											
	1科目（1単位）	12,000円											

主なスケジュール(予定)



単位修得までの流れ(放送授業の場合)

ここでは、放送授業を履修した場合を例に、出願～単位修得までの流れをご紹介します。



出願

1. 出願

2学期制（第1学期－4月～9月、第2学期－10月～3月）で、出願受付も学期ごとに行います。事前に放送大学からお送りする出願関係資料を基に、貴学内にて募集を行ってください。所定の出願票（または所定の出願データ）をとりまとめるうえ、一括して申請していただきます。出願された情報を基に、本学で受け入れ予定の学生を確定し、本人と貴学宛に通知します。本学から送付する各種通知および授業料の支払方法は、出願時の「送付方法」のパターンにより、個人宛・学校一括宛が選択できます（詳細は各学期の取扱いをご確認ください）。



印刷教材の送付

2. 印刷教材の送付

放送授業科目は、「放送教材」（授業番組）と「印刷教材」（テキスト）の2つの学習により構成されています。出願時に選択された送付方法により、印刷教材を送付します。大学への一括送付のほか、貴学を介さずに学生へ直接送付することも可能です。



放送授業

3. 放送授業

科目によってテレビ科目（動画）またはラジオ科目（音声）があり、いずれも1回45分の講義が15回で、学期毎に完結します（第1学期と第2学期の放送内容は同一です）。視聴はBSテレビ・ラジオだけでなく、インターネット上でいつでも視聴できます。また、DVD（テレビ科目）・CD（ラジオ科目）の無料貸出制度があり、学校内での集団視聴も可能です。



参考：放送授業について

<https://www.ouj.ac.jp/reasons-to-choose-us/anytime-anyone-can-learn-freely/tv-radio-internet/>



通信指導

4. 通信指導

各学期に1回、前半の一定範囲から出願された課題について、所定の期間内に答案を放送大学に提出し、担当教員の添削指導を受けることが必要です。提出及び添削は、一部科目を除き原則Webにて実施します。通信指導に合格すると、単位認定試験の受験資格が得られます。



参考：通信指導についてのご案内

（Web通信指導「体験版」もあります）

<https://www.ouj.ac.jp/for-students/webtsushin/>



単位認定試験

5. 単位認定試験

15回の放送授業が終了した後、一部科目を除き原則Webにて単位認定試験を受験します。所定の期間内の好きな時間に受験可能ですが、一度受験を開始すると制限時間（50分）が開始され、途中で停止はできません。各科目の受験回数は1回のみで、出題方式は「択一式」「記述式」「併用式」があります。必ず、事前に十分な学習準備の他、通信環境や動作の安定したPC等、本学が推奨する環境をよく確認のうえ、受験してください。学内教室等でまとめて受験することも可能です。



参考：単位認定試験についてのご案内

（Web単位認定試験「体験版」もあります）

<https://www.ouj.ac.jp/for-students/webshiken/>



単位認定

放送授業について

単位の構成

- TVやインターネット配信で視聴できる全15回の「放送教材（授業番組）」
- 放送教材の各回に対応する15章で構成される「印刷教材（テキスト）」の2つで構成されます。

2単位

放送授業の学修時間（2単位90時間）

II

放送教材15時間＋予習・復習30時間＝45時間

1単位

予習

放送教材 15時間

復習

+

印刷教材による学修45時間

1単位

印刷教材 45時間

大学通信教育設置基準に基づき、1単位の学修時間を45時間とし、次のように計算しています。

- 15時間（15回）の放送教材に対して、各回2時間の準備のための学修を必要とするものとし、計45時間の学修をもって1単位とします。
- 45時間（15回）の学修を必要とする印刷教材の学修をもって1単位とします。

放送授業の視聴方法



1. 放送教材（授業番組）の視聴による学習と、大学から届く印刷教材（テキスト）による学習を進めます（1科目につき放送教材は45分×15回、印刷教材は15章）。
2. 通信指導の提出期間中に問題を解いてWebで提出します。
3. 学期末に単位認定試験を受験（Web試験）。合格すると単位修得となります。

特別聴講学生は、学期開始後、自身の履修科目を含む全ての放送授業科目を24時間いつでもインターネット配信で視聴することが可能です。学生専用のポータルサイト（システム WAKABA）にログインのうえ、「放送授業のインターネット配信」から科目を選択してください。

その他、BS放送／ケーブルテレビ／ひかりTVでも視聴可能です。



参考：放送授業のインターネット配信について
<https://www.ouj.ac.jp/help/faq/10/>



参考：放送番組の視聴方法
<https://www.ouj.ac.jp/bangumi/howto/>

また、単位互換校へは、履修科目の放送教材を収録したDVD（テレビ科目）・CD（ラジオ科目）の無料貸出制度があり、学内教室等での集団視聴も可能です。

オンライン授業について

単位の構成

全ての学修を専用のシステム(オンライン授業システム)を利用して行う授業です。
必要とする学修時間に応じて、1単位の科目と、2単位の科目があります。

オンライン授業1単位の場合(1単位 45時間)

オンライン授業15時間+予習・復習30時間=45時間

1単位

予習	オンライン授業15時間		復習
	講義	学習活動	
	動画視聴や資料閲覧 1時間×8回=8時間	講義以外の設問・ 課題への取り組み ×8回=7時間	

or

オンライン授業2単位の場合(2単位 90時間)

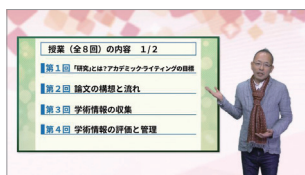
オンライン授業30時間+予習・復習60時間=90時間

2単位

予習	オンライン授業30時間		復習
	講義	学習活動	
	動画視聴や資料閲覧 1時間×15回=15時間	講義以外の設問・ 課題への取り組み ×15回=15時間	

大学通信教育設置基準に基づき、15時間の授業時間のほか、30時間の準備のための学修を必要とするものとし、計45時間をもって1単位としています。システム上で行う評価のための小テスト等の時間もあります。

オンライン授業の 受講方法



インターネットに接続されたパソコンなどを使い受講します。講義を視聴し課題(選択式問題、レポート、ディスカッション等)に取り組みます。課題提出により成績評価を行うため、通信指導や単位認定試験はありません(一部科目は単位認定試験を行います)。場所や時間にしばられることなく自分のペースで学ぶことができます。

オンライン授業の操作方法・学習方法は、オンライン授業体験版をご覧ください。



参考：オンライン授業について

<https://www.ouj.ac.jp/reasons-to-choose-us/anytime-anyone-can-learn-freely/online/>

学習スケジュールは開講期間中、自分のペースで自由に決めることができますが、科目ごとに課題、提出期間が定められています。



参考：オンライン授業科目一覧 課題実施期限(目安)

<https://www.ouj.ac.jp/reasons-to-choose-us/anytime-anyone-can-learn-freely/online/kamoku.pdf>

2 活用のための制度

放送大学との単位互換をよりよく活用いただくために、特別な制度を設けています。

制度の利用にあたっては、通常の出願とは別に事前の手続きが必要となります。制度の詳細につきましては、担当係へお問い合わせください。

1. 枠入学制度 学期開始後でも出願・入学が可能

概要

放送大学における特別聴講学生の出願期間中（1学期/2月上旬・2学期/8月上旬）に受講者を確定できない場合、所定の期間内に事前申請を行うことにより、一定数の入学予定者枠を確保しておき、学期開始後（1学期/4月上旬・2学期/10月上旬）に受講者を確定し、出願・入学することができる制度です。

事前の申請により学習に必要な印刷教材・貸出用放送教材を学期開始までに送付することで、スムーズに学習を開始することが可能です。

活用例

- 新入生にリメディアル科目を集団で履修させる場合（事前に科目と人数の最大値を申請する）
- 再履修科目として利用する（前学期の成績発表後に放送大学で履修する科目を決められるため、次学期の履修が可能）

2. 放送授業科目の再試験制度 翌学期に無料で再試験の受験が可能

概要

放送授業（テレビ科目・ラジオ科目）は、履修学期に単位認定試験を受験できなかった、あるいは受験したが合格できなかったという場合に、翌学期に無料で再試験を受験することができます（通信指導を合格しなかった場合には、次学期に通信指導の提出から始める必要があります。オンライン授業は対象外です）。

利点

- 翌学期に出願は必要なく、自動的に再試験の受験資格が得られます。
- 再試験を任意で不可とすることも可能です。

3.教育協力型単位互換制度 放送大学の授業科目を組織的に利用いただくために

教育協力型単位互換とは、放送大学の授業科目について、履修上の位置づけを行い、放送大学との単位互換について組織的に取り組んでいただける大学等に対して、その取り組み内容に応じ、「教育協力費」をお支払いするものです。

単位互換協定を締結いただいている大学等で下記の実施要件を満たし、教育協力型単位互換の実施を希望する場合はお問い合わせください。

例えばこのような利用方法をお考えの大学等に適しています。

- 学芸員養成課程の博物館に関する科目の一部に放送大学科目を利用し、継続的に毎年20名以上の入学者が見込める場合。
- 特定の科目を受講して、継続的に毎年100名以上の科目登録が見込める場合。
- 教養科目の一部に放送大学科目を利用し、教育課程内に放送大学科目を1科目以上修得することと位置づけている場合。

教育協力業務の内容

以下の1～3を要件としております。

1. 放送大学の授業科目について、履修上の位置づけを行うこと。
2. 放送大学の科目登録者数が年間で延べ100名以上の見込みがある、または、入学者数が年間で20名以上の見込みがあること（2学期から開始する場合、1学期間（10月～翌3月））。
3. 以下の①～⑤の業務を実施すること。

① 出願その他履修のために必要な業務

※1

放送大学との連絡窓口の設置、放送大学科目の履修ガイダンスの実施、出願書類や通信指導のとりまとめ、授業料の一括納付を行っていただきます。

また、放送大学から、登録された科目のDVD・CDを貸し出しますので、集団で視聴できる環境を確保いただき、単位認定試験までに計画的に視聴を実施していただきます。

② 単位認定試験の実施

※2

単位認定試験について、学生が各自で受験するのに十分な情報の提供やフォローをしていただきます。

③ TA等（教育補助職員）の配置

放送大学の授業科目を履修する学生に対する学習支援、学習相談の窓口となること等、受講生をサポートするための教育補助職員を配置していただきます。

④ 担当教員の配置

放送大学の授業科目の選定や、学生の学習指導等に対応できる教員を配置していただきます。

⑤ 授業評価の実施

放送大学が用意する授業評価調査票を受講した学生に記入してもらい、その結果を取りまとめ、機関としての評価を行っていただきます。

※1 出願時にご提出いただく「出願総括票」の機関名には「〇〇大学（教育協力型）」のように、当制度の対象であることを明記していただきます。

※2 オンライン授業科目を教育協力型単位互換にて活用する場合は、一部科目を除き単位認定試験が行われないため、上記（2）の業務の実施は免除とする代わりに、オンライン授業の履修に十分な学習環境を学校にて確保していただきます。

その他

基本的には放送大学との通常の単位互換と同様のスケジュールで行いますが、教育協力型単位互換を実施するための特別な業務（契約締結業務、授業評価等）を行っていただく必要があります。

3 協定締結までの流れ

STEP 1

「事前確認事項」のご検討

単位互換協定に際して必要な基本情報をご検討いただきます。
確認する事項は本ページの「事前確認事項」のとおりです。

- ・ご記入いただいたファイルは当係までメールにてご送信ください。
- ・ご検討段階でも、ご不明点等があればお気軽にご連絡くださいませ。

STEP 2

「協定書」&「覚書」の作成

お送りいただいた「事前確認事項」を基に、
本学にて「単位互換に関する協定書」及び「単位互換に関する協定書についての覚書」の案を作成します。

- ・本学にて作成した案をお送りしますので、ご確認ください。
- ・追加したい文言や使用したい別のフォーマットがあればご相談ください。

単位互換実施 事前確認事項(記入例)

学校名	幕張大学	
学長名	〇〇 〇〇	
設置形態・設置場所(都道府県)	私立	千葉県
開設学部・学科(入学定員)	工学部	(100)
	文学部	(100)
	法学部	(100)
	合計	(300)
利用学部・学科(履修予定者数)	工学部	(20)
	文学部	(20)
	合計	(40)
履修可能単位数	10単位以内	
履修できる授業科目の範囲	すべての放送授業並びにオンライン授業の科目を履修可能とする	
カリキュラム上の位置づけ	本学が指定する放送大学の科目の中から 10単位までを基礎教育科目として認定する。	
履修開始時期	2025年度第1学期	
授業料の負担方法	幕張大学の全額負担	
放送授業の視聴方法	集団視聴	
再試験の可否	可	
双方向単位互換の実施希望の有無	無	
双方向単位互換を実施する際の 受入人数上限/認定上限単位数	無	
貴学での協定締結承認予定会議名及び日程	幕張大学	
	会議名(教授会)	日程(2024.9.4)
放送大学ウェブサイトから リンク可能な場合は、URLをご記載ください	https://www.ouj.ac.jp/	
放送大学利用を検討されたきっかけ	☐ 放送大学ウェブサイト ()	
	☐ 放送大学の広告()	
	☐ ご紹介(ご紹介者名:)	
	☐ その他()	
貴校での調印式実施有無	有or無	



フォーマットは以下からダウンロード可能です。
https://www.ouj.ac.jp/about/tanigokan-renkei/staff/tanigokan_format.xlsx

記入上の注意等についての詳細は
フォーマットをご確認ください。

STEP 3

両校の会議体での承認

貴学の教授会等で、放送大学との単位互換協定を締結することについて、正式な承認を得ていただきます。その後、放送大学内でも教授会等で承認のうえ、学内手続きを進めます。

STEP 4

「協定書」と「覚書」への調印

本学にて発行する「協定書」および「覚書」の清書に、両校が調印を行うことで、協定締結が完了します。

- 調印式を行う場合には、式典内での調印を行います。
- 調印式を行わない場合には、郵送による書面のやり取りにて調印が完了します。

STEP 5

学生募集の開始

貴学内で学生の募集を開始していただきます。

- 募集スケジュールは利用学期の前学期から開始します。
- STEP1～4までには、3カ月～半年以上の余裕をみてご計画ください。

単位互換に関する協定書

放送大学と〇〇大学との間における
単位互換に関する協定書（案）

放送大学及び〇〇大学は、双方の大学の規則に定めるところにより、両大学の学生が、それぞれ相手大学の授業科目を履修し、単位を修得することを認めることとし、次の事項について合意に達したので、ここに協定書を取り交わす。

（受入れ）

- 第1条 〇〇大学に在籍する学生が、放送大学の授業科目の履修及び単位の修得を希望するときは、放送大学長は当該学生を受け入れることができる。
- 2 放送大学に在籍する学生が、〇〇大学の授業科目の履修及び単位の修得を希望するときは、〇〇大学長は当該学生を受け入れることができる。
- （特別聴講学生）
- 第2条 両大学は、前条により受け入れた学生を「特別聴講学生」として取り扱う。
- （履修期間）
- 第3条 特別聴講学生の履修期間は、両大学とも1学期間ごととする。
- （授業科目の範囲及び単位数）
- 第4条 履修できる授業科目の範囲及び修得できる単位数は、別に定める。
- （学生数）
- 第5条 両大学の受け入れる学生数は、別に定める。
- （受入手続）
- 第6条 特別聴講学生の受入手続は、別に定める。
- （単位の授与等）
- 第7条 特別聴講学生の履修方法、単位の授与等については、受入大学の学生の場合と同様とする。
- （授業料等）
- 第8条 放送大学においては、特別聴講学生の授業料は、放送大学学則に定める額とし、入学料は徴収しない。
- 2 〇〇大学においては、特別聴講学生の授業料は、〇〇大学〇〇〇〇規程に定める額とする。ただし、選考料及び入学料は徴収しない。

年 月 日

放 送 大 学 長 〇 〇 〇 〇 印

〇 〇 大 学 長 〇 〇 〇 〇 印

単位互換に関する協定書についての覚書

放送大学と〇〇大学との間における
単位互換に関する協定書についての覚書（案）

協定書作成の際、さらに下記の内容が合意に達したので、実施に当たって留意する。

記

- 受入学生数
放送大学が受け入れる学生は、〇〇人程度とする。
- 履修できる授業科目の範囲及び修得できる単位数
(1) 履修できる授業科目の範囲
〇〇大学学生が履修できる授業科目は、放送大学で開講するすべての放送及び印刷教材による授業科目並びにオンライン授業科目のうち、〇〇大学において認めたものとする。
(2) 修得できる単位数
〇〇大学学生が、当該学生の在学期間を通じて修得できる単位数は、〇〇単位以内とする。
- 出願の手続及び受入予定学生の決定
出願の手続及び受入予定学生の決定については、次に掲げる要領により取り扱う。
(1) 放送大学に特別聴講学生として出願を希望する者は、定められた期日までに出願票及び所定の書類を〇〇大学長を経て放送大学長に提出するものとする。
(2) 放送大学長は、前号により希望した者のうちから選考し、受入予定学生を決定する。
(3) 放送大学長は、前号で決定した学生の氏名を〇〇大学長に通知する。
- 受入れの許可
(1) 前項第2号により受入予定学生と決定した者は、放送大学学則に定める手続を行う。
(2) 放送大学長は、前号の手続を完了した者に対し特別聴講学生として受入れを許可する。
(3) 放送大学長は、前号で許可した学生の氏名を〇〇大学長に通知する。
- 通信指導の再提出及び再試験
放送大学長は、特別聴講学生が放送大学において履修する授業科目の通信指導の再提出及び再試験の受験を、各1回認める。
- 成績評価及び単位授与の方法
特別聴講学生が放送大学において履修した授業科目の成績の評価及び単位の授与については、放送大学学則の定めるところによる。
- 単位認定試験の実施方法
〇〇大学は、放送大学の単位認定試験を、放送大学が指定する実施方式に則り、〇〇大学指定の場所で実施するものとする。
- 放送大学は、特別聴講学生が履修上必要な施設・設備の利用については、便宜を供与する。
- この覚書に定めるもののほか、本協定の運営に関し必要な事項は、両大学長間の協議により定める。

年 月 日

放 送 大 学 長 〇 〇 〇 〇 印

〇 〇 大 学 長 〇 〇 〇 〇 印

4 データで見る放送大学の単位互換

特別聴講学生の受入数(年間)

約**4000**名

単位修得率

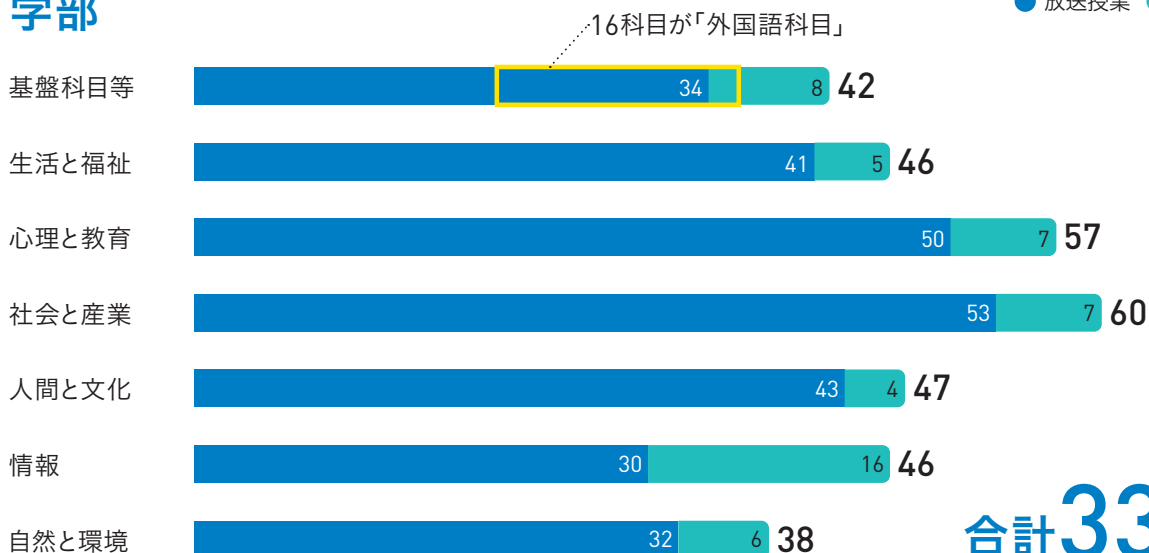
約**80~90**%

開設科目数

学部、大学院で合計 約**400**科目以上

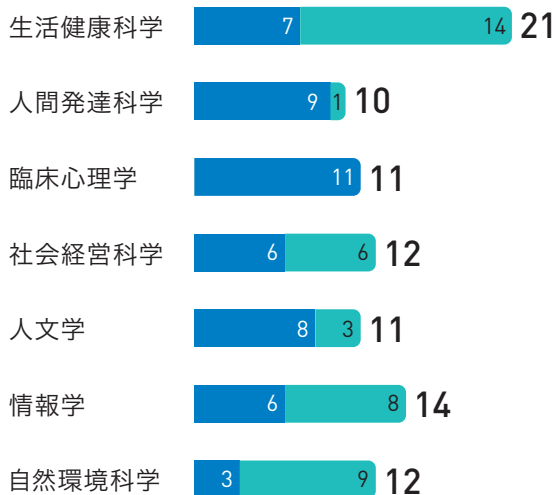
学部

● 放送授業 ● オンライン授業

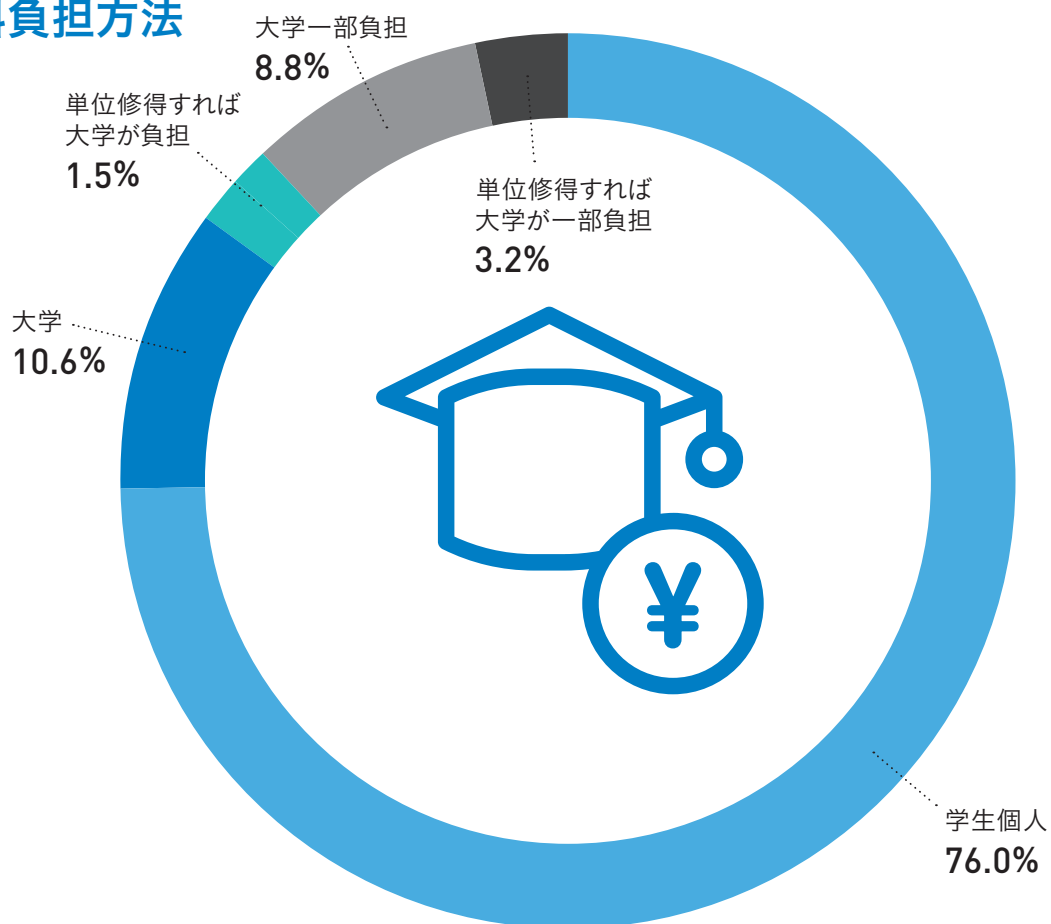


大学院

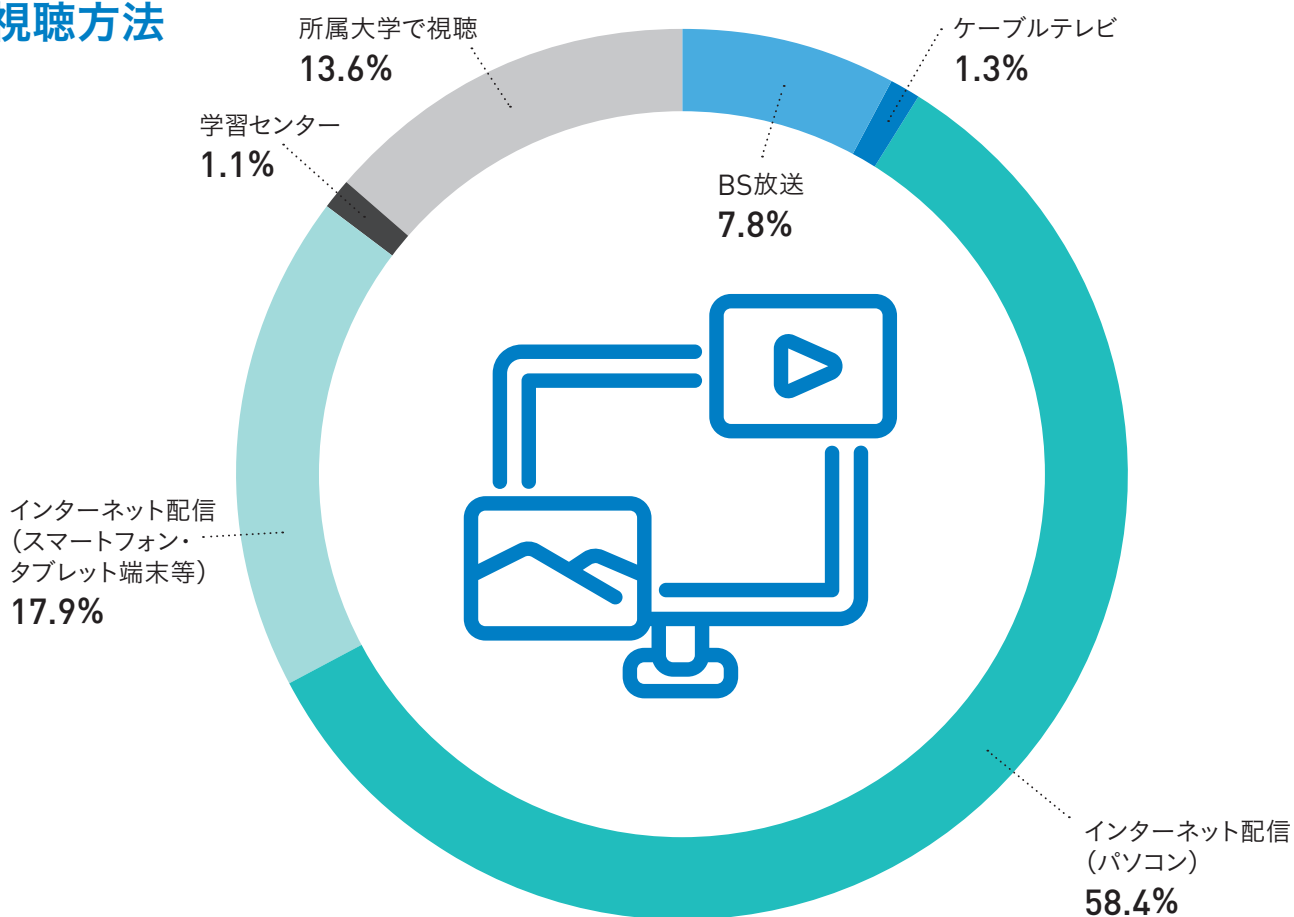
● 放送授業 ● オンライン授業



授業料負担方法



視聴方法



協定全般について

Q.1 | 学部間の協定と大学院間の協定に何か違いはありますか。

A | 手続き上の違いはありません。放送大学では単位互換協定を締結する場合、学部は学部（短期大学を含む）と、大学院は大学院と、それぞれ協定を締結することとしています。学生の受け入れについては協定書に明記していますが、学部及び短期大学に在学する学生については本学学部の授業科目を、大学院に在学する学生については本学大学院の授業科目を、それぞれ履修することとなります。

※学部間の協定に基づいて、学部生が本学大学院に出願することや、大学院間の協定に基づいて大学院生が本学学部の授業科目を履修することはできません。

Q.2 | 高等専門学校が単位互換協定を締結する場合に注意する点はありますか。

A | 高等専門学校の場合は、本学学部と協定を締結することになります。本学が受け入れる学生は高等専門学校4年次、5年次及び専攻科に在籍する学生となります。それ以外は学部間の単位互換協定と違いはありません。

Q.3 | 授業料の額及びその負担方法はどのようになっているのですか。

A | 授業料は、学部では1科目（2単位）12,000円、1科目（1単位）6,000円、大学院では1科目（2単位）24,000円です。放送授業の授業料には印刷教材代が含まれており、授業料以外の教材費等はかかりません。

本学からの授業料の徴収方法については、出願の際、

- ・大学等に一括請求書を送付
- ・個人住所宛に請求書を送付

のいずれかを選択していただきます。

実際の負担方法としては以下のようなものがあります。

1. 全額大学等で負担する。
2. 一定割合を大学等で負担する。
3. 出願時は学生が負担し、単位修得すれば大学等が返金をする。

※2.3の場合は、大学等と学生の間でご対応をお願いします。（本学からの請求書を分割する等の対応はできません。）

単位互換の科目について

Q.4 | 単位互換に利用できる放送大学の科目はどのような科目ですか。

A | 通常学期に開設しているすべての放送授業・オンライン授業（面接授業、ライブweb授業は除く）の中から選択できます。開設科目の詳細については、webサイトで公開しています。

<https://www.ouj.ac.jp/kamoku/>



Q.5 | 放送授業はどのように視聴すれば良いのですか。

A | 放送授業は、特別聴講学生になればインターネット配信ですべての回をいつでも視聴可能です。その他、BS放送・ケーブルテレビ等での視聴も可能です。⇒参照：（P9「放送授業の視聴方法」）

<https://www.ouj.ac.jp/bangumi/howto/>



※単位互換校へは放送教材のDVD・CDの無料貸出制度があります。履修者全員で集団視聴を行う等の活用が可能です。

Q.7 | 単位の認定はどのように行うのですか。

A | 放送大学は、特別聴講学生の成績を本人と所属大学等に通知します。これに基づいて各大学等では、協定で定めた単位数の範囲内で、放送大学で修得した単位を各大学等の単位として認定することになります（設置基準上の上限は、大学 60 単位、短期大学 30 単位、高等専門学校 60 単位、大学院 15 単位）。

Q.8 | 単位認定試験の成績評価はどのようになっていますか。

A | 下表のとおりです。

合否	合格				不合格	
評語	①	A	B	C	D	E
素点	100-90	89-80	79-70	69-60	59-50	49-0

試験について

Q.9 | 通信指導及び単位認定試験は1回しか受けられないのですか。

A | 放送授業の単位が未修得となった場合、通信指導・単位認定試験とも次の学期に限り再提出、再試験を受けることができます。再試験に際して特段の手続きは必要ありません。なお、大学等が希望する場合、再試験を不可とすることも可能です。

オンライン授業の場合、一部科目を除き通信指導及び単位認定試験を行わないため、再試験はありません。

学期	履修登録の当学期	▷	履修登録の次学期
放送授業	通信指導が不合格or 未提出の場合…	▷	通信指導問題の再提出、 合格の後、 単位認定試験の 受験が可能
	通信指導を合格したが、 単位認定試験が不合格or 未受験の場合…	▷	単位認定試験の 受験が可能 (通信指導の提出は 不要)
オンライン 授業	通信指導、 単位認定試験はない。 単位が 修得できなかった場合…	▷	単位の修得には、再度、 出願が必要

Q.10 | 単位認定試験の時期と実施方法はどのようになっていますか。

A | 学期の単位認定試験受験期間は7月下旬頃、2学期の単位認定試験は1月下旬頃です。なお、試験期間日程は学生募集の時期に決定され、冊子「授業科目案内」等に掲載しています。単位認定試験は、Web 受験方式にて実施します。

<https://www.ouj.ac.jp/for-students/webshiken/>



放送大学開設科目の一覧

特別聴講学生は本学の通常学期（1学期・2学期）に開設しているすべての放送授業、オンライン授業（面接授業、ライブweb授業は除く）を履修することが可能です。

開設科目は以下から
ご確認ください。

学部開設科目



<https://www.ouj.ac.jp/kamoku/kyouyou/C/>

大学院開設科目



<https://www.ouj.ac.jp/kamoku/daigakuin/B/>

※単位互換協定は、学部同士、大学院同士でのみ締結が可能です。
※学部生が大学院開設科目を、大学院生が学部開設科目を履修することはできません。

単位互換締結校について

400校以上の大学等に利用されています。
最新の協定校一覧はこちら



参考：単位互換協定校一覧
<https://www.ouj.ac.jp/about/tanigokan-renkei/school/>

学習センターについて

特別聴講学生は、全国57か所の
学習センター・サテライトスペースを
自由に利用することができ、
図書室等の利用が可能です。



参考：学習センター・サテライトスペース一覧
<https://www.ouj.ac.jp/about/ouj/center/>

シンボルマークについて

- 1.知識を吸収し、集約し、人格形成され、外に向かって上昇していくことを表す。
- 2.多数の人々が教育をうける機会を表す
- 3.白は知識の吸収を、ブルーは人格の形成を表す。

(制作 永井一正氏)



THE OPEN UNIVERSITY OF JAPAN



**THE OPEN UNIVERSITY
OF JAPAN**



お問い合わせ先

本部

放送大学学園学務部連携教育課連携協力係

〒261-8586 千葉県美浜区若葉2-11

☎043-298-4256 ✉renkei@ouj.ac.jp

学習センター

ご相談はお近くの学習センターでも承ります。

学習センター・サテライトスペース一覧

<https://www.ouj.ac.jp/about/ouj/center/>

